

令和2年2月23日
監事候補者選考会議

国立大学法人東海国立大学機構監事（常勤）候補者選考基準

東海国立大学機構は、大学・産業界・地域の発展の好循環を創出する我が国の新しいモデルを構築し、国際的な競争力向上と地域創生への貢献を同時に達成することを目指している。加えて、社会環境の変化や大学に対する社会からの期待の高まりを受け、改革を求められている国立大学を複数運営する東海国立大学機構において、業務の適正性、財務及び会計の適正性を監査する監事の業務は、非常に重要である。

上記のような任務を遂行する監事候補者を選考するにあたり、以下の資質、経験等を重視する。

1. 機構長、理事、職員等との意思疎通を図り、常に業務運営の状況を把握するコミュニケーション能力を有していること。
2. 業務運営上の課題を見つける探求力を有していること。
3. 同一法人内の他の監事と情報を共有し、監査に関する意見形成を構築する調整力を有していること。
4. 民間企業、国または地方公共団体等において、リーダー的な立場での豊富な業務経験があることが望ましい。

令和2年3月20日
監事候補者選考会議

国立大学法人東海国立大学機構監事（非常勤）候補者選考基準

東海国立大学機構は、大学・産業界・地域の発展の好循環を創出する我が国の新しいモデルを構築し、国際的な競争力向上と地域創生への貢献を同時に達成することを目指している。加えて、社会環境の変化や大学に対する社会からの期待の高まりを受け、改革を求められている国立大学を複数運営する東海国立大学機構において、業務の適正性、財務及び会計の適正性を監査する監事の業務は、非常に重要である。

上記のような任務を遂行する監事候補者を選考するにあたり、以下の資質、経験等を重視する。

1. 機構長、理事、職員等との意思疎通を図り、常に業務運営の状況を把握するコミュニケーション能力を有していること。
2. 業務運営上の課題を見つける探求力を有していること。
3. 同一法人内の他の監事と情報を共有し、監査に関する意見形成を構築する調整力を有していること。
4. 財務状況や決算状況の適切な監査を実施するため、財務や決算に関する専門的知見を有し、組織の監査を、公正かつ適切に遂行できる能力を有していると認められること。